

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

オーブンレンジ YRGA-F160V

もくじ

●安全上のご注意	①～③
●設置	④
●加熱のしくみ	④
●使える容器・使えない容器	⑤
●いろいろな機能	⑥
●各部の名称	⑦
●準備	⑧
●から焼きをする	⑧
●メニュー	⑨～⑪

・あたため
・肉・魚の解凍
・飲み物のあたため
・揚げ物のあたため
・冷凍食品のあたため
・ごはんのあたため
・トースト

●レンジを上手に使うポイント	⑫
●手動調理 レンジを使う	⑬
●手動調理 グリルを使う	⑬
●手動調理 オープンを使う(予熱あり)	⑭
●手動調理 オープンを使う(予熱なし・発酵)	⑭
●お手入れ	⑮
●故障かな?と思ったら	⑯
●点検	⑰
●仕様	⑰
●アフターサービスについて	⑱
●保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- ・このたびは、弊社オーブンレンジをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOK を
チェック!



随時情報を更新中!



安全上のご注意 **必ずお守りください**

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

	危険	誤った取り扱いをしたときに 死亡や重傷に結びつく可能性が高いもの
	警告	誤った取り扱いをしたときに 死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
	注意	誤った取り扱いをしたときに 傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

危険



禁止

穴やすき間に金属物を入れない。自分で絶対に分解・修理・改造をしない
感電・発火のおそれがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

警告



禁止

ドアやドアのシールに損傷がある場合は使用しない
電波漏れのおそれがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

■設置する時



必ず守る

使用前に梱包材は全て取り除く

変形・発火・火災の原因になります。また、取り除いた
梱包材は、乳幼児の手の届くところに置かないでく
ださい。ポリ袋や箱に入り窒息する原因になります。

設置の際は、アース線を確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電する原因になります。
※アース取り付けはP4を参照してください。



禁止

不安定な場所、燃えやすいものの近くや、本体周囲に熱がこもる環境で使用しない

新聞紙など本体の給排気口をふさぐようなものの上や、じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上では使用しな
いください。火災・やけどの原因になります。

吸気口や排気口をふさいだり、布やカバー
をかけて使用しない

故障の原因になります。

水のかかる所や湿気の多い所、また火気の近く
では使用しない

感電や漏電の原因になります。

■電源プラグ・電源コードなどは

電源プラグの刃、刃の取付面やコンセントにホコリが付いているときは乾いた布でふき取る
火災の原因になります。



必ず守る

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う

交流100V以外で使ったり、コンセントを他器具と併用すると火災・感電の原因になります。

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、
引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い
ものをのせたり、挟み込んだり、加工したり
しない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの
差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。

使用中に電源プラグを抜き差ししない

火災や感電、故障の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電やけがの原因になります。

警告

■電源プラグ・電源コードなどは

電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火する原因になります。



プラグを
持って抜く

異常時は、運転を停止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。

【異常・故障例】

- ・電源コードやプラグが異常に熱くなる。・使用中に異常な音やにおいがする。・自動的に電源が切れないことがある。
- ・スパーク(火花)または煙が出ることがある。・ドアに著しいガタつきや変形がある。・触れると電気を感じる。

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

ホコリがたまり発煙、発火の原因になります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて本体が冷めてから行う

感電やけが、やけどの原因になります。



必ず守る

庫内に付着した油や食品カス等は、こまめに掃除する

火花が飛び、発火や発煙の原因になります。食品カス等がたまると発火の原因になります。

食品や飲料を加熱しすぎない

食品が発煙・発火したり、飲料は突然沸騰して、やけどの原因になります。少量の加熱時や油脂の多い食品・液体、イモなどの根菜類の加熱には注意してください。



禁止

おしぼりやタオルの温めや衣類の乾燥など調理目的以外の使用はしない

過熱や異常動作による発火、やけどの原因になります。

子供だけで使ったり、幼児の手の届く所で使わない

感電やけが、やけどの原因になります。

100g未満の食品はオートメニューで加熱しない

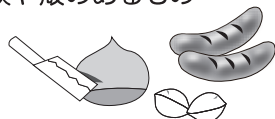
過加熱となり食品が発火する原因になります。

食品以外は加熱しない

衣類、布類、レンジ加熱用湯たんぽ、哺乳瓶消毒容器、玩具などは加熱しないでください。

■レンジ加熱時の破裂を防ぐために注意する

膜や殻のあるもの



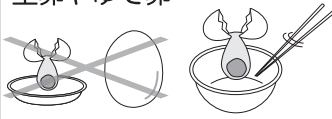
破裂してけが、やけどの原因になります。切れ目や割れ目を入れてください。

ふたのある容器



破裂してけが、やけどの原因になります。ふたを外してください。

生卵やゆで卵



破裂してけが、やけどの原因になります。ほぐしてから加熱してください。



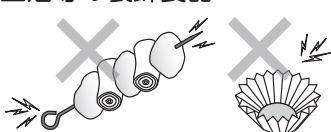
必ず守る

ガラス瓶、哺乳瓶、缶詰



容器が割れてけが、やけどの原因になります。耐熱容器に入れ替えてください。

アルミ箔、金属製食器、金箔等の装飾食器



火花が出て発煙、発火の原因になります。

袋入りの食品



破裂してけが、やけどの原因になります。袋から取り出して加熱してください。また、**脱酸素剤**などは、必ず取り出してください。発煙・発火するおそれがあります。

⚠ 注意

本体が転倒、落下したときは外部に損傷がなくても使用しない

感電や電磁波漏れのおそれがありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

ドアにぶらさがったりして無理な力をかけたり、物をはさんだまま使用しない
電磁波漏れによる障害が起きることがあります。



禁止

庫内が、から(食品なし)のまま作動させない
異常高温になり、やけどや発火、故障の原因になります。(P8のから焼き・予熱を除く)

可燃性スプレーを使ったり、燃えやすいものを近くに置かない
引火してやけどや火災の原因になります。

本体の上に物を置かない
熱で焦げたり変形するおそれがあります。

食品が燃え出したときは、ドアを開けない
酸素が入り、勢いよく燃えます。

【次の処置をしてください】

1. ドアを閉めたまま、取消ボタンを押す。
2. 電源プラグを抜く。
3. 燃えやすいものを本体から遠ざけ、鎮火するのを待つ。

■鎮火しない場合は、水や消火器で消火してください。

■そのまま使用せずに、必ずお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



必ず守る

レンジ加熱したラップを外すときは、ゆっくり外す

蒸気が一気に出て、やけどの原因になります。



水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

■オープン・グリル加熱のとき



必ず守る

食品の出し入れは、ミトンを使う
やけどの原因になります。また、破れたり濡れたミトンは使わないでください。

お手入れは、本体や庫内が冷めてから行う
やけどの原因になります。



禁止

加熱中や加熱後しばらくは高温のため
庫内や本体には触れない
(ドアの取っ手や操作部は除く)
やけどの原因になります。

調理後の角皿は、本体の上や熱に弱いものの上に置かない
焦げたり、変形する原因になります。

調理のときのお願ひ

■オートメニューのとき

- 加熱が足りないときは、手動加熱を使う
オートメニューを使うと、もう1度始めから加熱することになり、食品が焦げたり、発火することがあります。
- 記載の材料・分量を守る
材料や分量を変えるときは、手動加熱で様子を見ながら加熱してください。
- 少量の食品のとき(100g未満)は、オートメニューで加熱しない

■レンジ加熱のとき

- 金属類は、絶対に使用しない
火花が出て、機器を傷めたり、付属品が破損することがあります。
- 根菜などの少量加熱は、必ず浸るぐらいの水を入れる
少量(100g以下)の加熱は、火花の発生や食品が焦げたりして、故障の原因になります。

■オープン・グリル加熱のとき

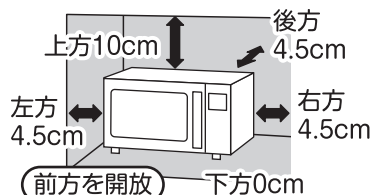
- ラップやプラスチック容器を使わない
溶けたり、発火するため使えません。
- できあがったら、すぐに庫内から取り出す
余熱で焼きすぎることになります。

■すべての加熱について

- 換気をしながら調理する
煙が多く出る場合があります。
- 食品は、庫内中央に均等に置いて加熱する
庫内端に置いて加熱すると、過加熱や突沸のおそれがあります。
- 繰り返し加熱するときは調理時間を短くしたり、仕上がり温度調節をしたり、様子を見ながら加熱する
庫内が熱い場合は、うまく仕上がらないことがあります。
- 容器など、それぞれの加熱に合ったものを使う(P5参照)

設置

- 壁や家具などの可燃物から、図のように距離を離してご使用ください。
- 窓ガラスがある場合は、排気口から20cm以上離してください。
(温度差によって割れる場合があります。)
- 図のようなすき間があっても、周りを密閉した状態にしないでください。
- 本体の近くでは、無線機器(無線LANなど)の通信機能が低下することがあります。無線機器の取扱説明書などをよくお読みのうえ、ご使用ください。
- テレビ・ラジオ・アンテナ線から、3m以上離してください。
映像が乱れたり雑音が入るおそれがあります。



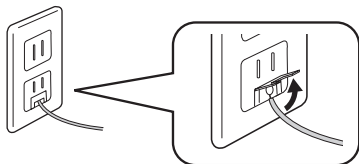
アースの取り付け

アースを確実に取り付けてください。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

【アース付きコンセントがある場合】



アース線先端の被覆を取り去って、
アース端子に確実に固定してください。



ふたが付いている場合は、
ふたを開けて取り付けてください。

【アース付きコンセントがない場合】

販売店または電気工事店にご相談いただき、アース工事(D種接地工事)をしてください。

■アース工事(電気工事資格者によるD種接地工事)が必要な場所

【湿気が多い場所】土間、コンクリート床、酒や醤油などの醸造・貯蔵所

【水気のある場所(アースの他に漏電遮断機の設置も必要)】

洗い場など水を扱う場所、水滴の飛び散る場所、地下室など結露のおきやすい場所

■アース線を接続できないもの

ガス管、水道管、電話線や避雷針のアースには絶対に接続しないでください。

【注意】

- アース線が本体アース端子に確実に取り付けられているか確認してください。
- 設置場所の変更や転居の際には、再度アースの取り付けをおこなってください。

加熱のしくみ

【レンジ加熱】電波(高周波)が食品に当たると食品の水分が摩擦熱を起こし、加熱します。

- ※食品の種類・加熱前の温度によって加熱時間は異なります。
- ※食品の分量が2倍になると加熱時間は2倍弱になります。
- ※水分の少ない食品は、過熱して発火することがありますので、注意してください。
- ※市販の食品に添付されている脱酸素剤を加熱しないでください。異常高温になり危険です。
- ※庫内に何も入れずに加熱しないでください。異常高温になり危険です。

■電波の特性



水分のある食品は
吸収されます。



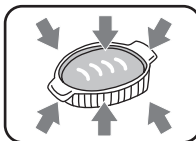
耐熱性のある
ガラス容器、陶器
などは透過します。



金属性の器などは
反射します。
(使用できません)

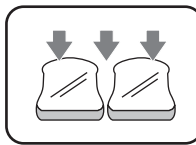
【ヒーター加熱】

■オープン加熱



上下のヒーターの加熱を
温度センサーで調整し、
設定した庫内温度で焼き上げます。

■グリル加熱



上のヒーターで加熱し、食品の表面に
焼き色を付けたり、様子を見ながら
追加焼きをするときに使います。
両面を焼く時は調理の途中で食品を
うら返します。

使える容器・使えない容器

○使える容器 ×使えない容器

容器の種類	レンジ	オーブン・グリル
ガラス	■耐熱性のあるもの ○ 急に熱したり冷やさないでください。割れるおそれがあります。	○ 急に熱したり冷やさないでください。割れるおそれがあります。
	■耐熱性のないもの 強化ガラス、クリスタルガラス、カットグラスなど ×	×
プラスチック	■耐熱性のあるもの 耐熱温度140℃以上または「電子レンジ使用可」の表示があるもの ○ ●ふた部分だけが熱に弱いものがありますので、ご注意ください。 ●糖分や油分の多い料理は高温になり、変形したり、溶けたりするため、使えません。 ●時間をかけすぎると変形することがあります。	× ただし、「オープン・トースター・グリル使用可」の表示のあるものは使えます。
	■熱に弱いもの (耐熱温度140℃未満) × 溶けたり、変形するので使用できません。 ※スチロール、メラミン、フェノール、ユリアなど ※耐熱温度表示100℃以下のポリエチレン	×
陶磁器	■陶器、磁器 よく確認して使ってください ○ ●ただし、絵付け、ヒビ模様、金や銀の装飾のあるものは、器を傷めたり、火花をおこすので使えません。 ●急に熱したり冷やすと割れることがあります。	× ただし、耐熱性のある陶磁器やグラタン皿などは使えます。
漆器など	■漆器、竹製品、木製品、紙 × ●漆器は塗りがはげたり、ひび割れたり、変色することがあり使えません。 ●クッキングシートも焦げたり、燃えたりして使えません。	× ただし、オープンシートは使用できます。
金属	■アルミ、ステンレス、ホーローなどの金属 ■アルミホイル × スパークして本体を傷めるため使えません。 金・銀箔のあるフィルムやテープ、針金の入ったテープなども使えません。	○
その他	■ラップ (耐熱温度140℃以上) ○ ただし、糖分や油分などが多い料理は、高温になり、溶けるため使えません。	×
	■特殊な形状の容器 × 注ぎ口の細い容器などは、細い部分が集中的に加熱され突沸しやすく、やけどの原因になります。	×

いろいろな機能

【電源を入れるには】

電源プラグをコンセントに差し込み、ドアを開けることで電源が入ります。このとき、表示部に「0」と表示されます。

【オートオフ機能】

- ドアを閉めて、何もしないと電源が切れて、表示部の表示が消えます。
- オートオフが働き電源が切れたときは、ドアを開けることで電源が入り、表示部に「0」と表示されます。
- 次の場合は、電源が切れません。
 - ・冷却ファンが回っているとき
 - ・庫内が高温のとき

【仕上がり調節機能】

- オートメニュー(3 肉・魚の解凍、4 ごはんのあたため、5 飲み物のあたため を除く)のときにダイヤルを回すことで加熱時間を増減できます。
- お酒を加熱するときは、弱めに調節してください。

【庫内灯について】

- ドアを開くと庫内灯が点灯します。
- 加熱中は、庫内灯が点灯して、加熱が終了すると消灯します。

【消音モード】

- ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」と表示されます。このとき、取消ボタンを3秒以上押すと消音モードになり、Xが表示されてボタン操作音が鳴らなくなります。
- 復帰させるには、表示部に「0」と表示された状態で、再度取消ボタンを3秒以上押してください。

【取消ボタン】

各運転の設定中や加熱中に取消ボタンを押すと、設定がリセットされ、表示部に「0」と表示されます。

加熱中にドアを開けると一時加熱を中止します。ドアを閉めてスタートボタンを押すと、残りの加熱を再開します。

【チャイルドロック】

「0」表示中に、取消ボタンを押しながら、スタートボタンを押します。
表示部に「」と表示され、どのボタンを押しても操作ができなくなります。
※解除するときは、再び取消ボタンを押しながらスタートボタンを押してください。

【加熱時間表示】

スタートボタンを押して加熱が始まると、残りの加熱時間を表示します。
あたためボタンの場合はセンサーが温度を検知した後、残りの加熱時間を表示します。
(残り時間を表示しないまま終了することもあります。)

【冷却ファン】

加熱後は、機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

【お知らせ】 機器の運転時には以下のような音がしますが、異常ではありません。

加熱中の音

- 「ブーン」→冷却ファンの回る音、内部変圧器などの動作音
- 「カチッ」→出力を切換・調整するためにスイッチが動作する音

加熱後の音

「ブーン」→冷却ファンの回る音

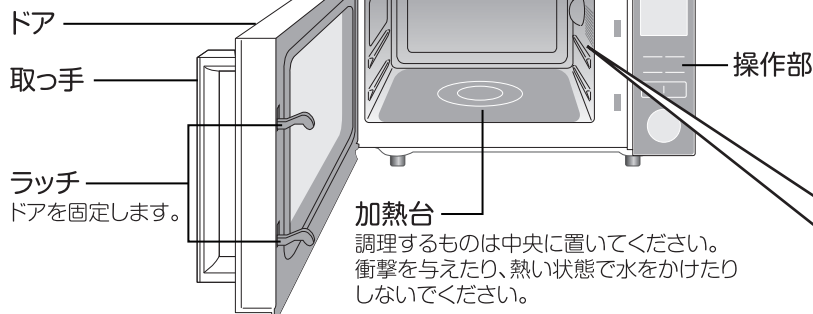
温度変化

運転により機器が熱くなったり冷めたりすることで、各部に温度による膨張や収縮が発生「ボンッ」や「ピシッ」という音がすることがあります

設置場所によっては共鳴して大きく聞こえることもあります。以前までしなかった音が急に鳴り出したり、異音と思われる場合は販売店、または取扱説明書記載の「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

各部の名称

【正面】



庫内上部



ヒーター

汚れないようにしてください。
力を加えないでください。

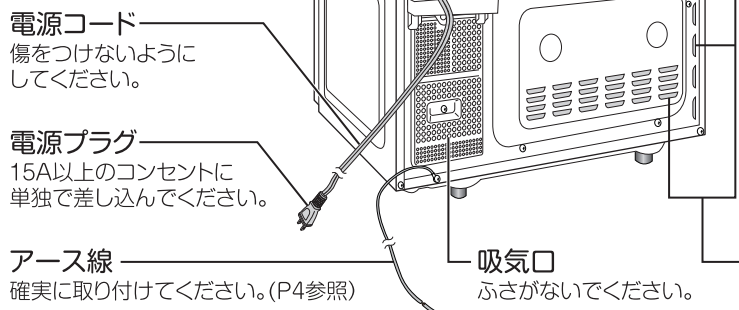
庫内灯

ドアを開けたときおよび
加熱するとき点灯します。

角皿支え (上段)

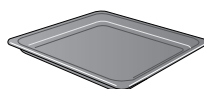
角皿支え (下段)

【背面】



付属品

角皿



- オープンやグリル調理をするときに使用します。
- レンジには絶対に使用しないでください。
火花が飛んで使用できません。

【操作部】

表示部

オートメニューの番号・仕上がり調節・
時間・温度などを表示します。

手動調理ボタン

調理に合わせて、手動で時間・温度を
設定するときに使います。

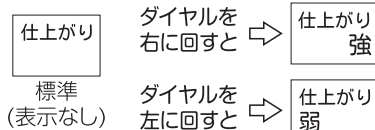
取消ボタン

設定を間違えたときや、加熱を途中で
止めたいときに使います。

時間/重量/温度/仕上がり温度 調節ダイヤル

ダイヤルを回して、調理の時間・重量・
温度の設定や、オートメニューでの
仕上がりの強弱の調節に使います
(オートメニュー[3] [4] [5]を除く)。

●仕上がりの強弱の調節



オートメニューボタン

温度と時間の設定を自動で行います。

- [3] 肉・魚の解凍 → P10
- [4] ごはんのあたため → P10
- [5] 飲み物のあたため → P11
- [6] トースト → P11
- [7] 揚げ物のあたため → P11

あたためボタン → P9

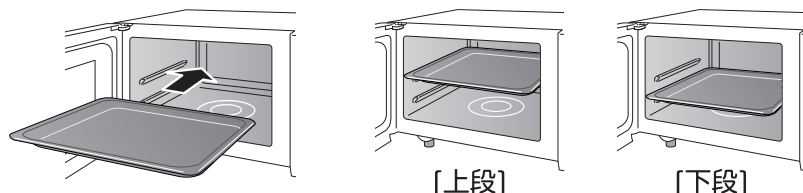
[0] 表示中にあたためボタンを押すと、
[1]あたため [2]冷凍食品のあたため を
開始します。

スタートボタン

加熱を開始するときに使います。
※加熱中にドアを開けると、一時停止
します。ドアを閉めてスタートボタンを
押すと加熱を再開します。

準備

- オーブンやグリルを使用するときは角皿をセットしてください。
調理するものによって上段、または下段にセットします。
- レンジを使用するときは、絶対に角皿を使用しないでください。



⚠ 注意

ご使用時には角皿や庫内の汚れをよくふき取ってください。
発煙、発火のおそれがあります。

から焼きをする

- 初めて使用する前に、庫内の油分やにおいを取り除くために、行ってください。
- 煙やにおいが出ますので、窓を開けたり換気扇を回してください。
- 煙やにおいに敏感なペットなどは、別の部屋に移してください。

1 ドアを開けて「0」を表示させ、庫内に何も入れずにドアを閉める
角皿も入れないでください。

2 「オープン」ボタンを2回押して、ダイヤルを回して200℃に合わせる



3 「スタート」ボタンを押して、ダイヤルを回して20分に合わせる



4 スタートボタンを押す

庫内灯が点灯して、から焼きが始まります。このとき、残り時間が表示されます。

5 から焼き完了

ブザーが鳴ってお知らせします。機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

- ・続けて調理を行う場合は、ドアを開けて庫内を十分冷ましてから行ってください。
- ・連続してから焼きをしないでください。
- ・庫内が熱くなっていますので、やけどなどにご注意ください。

1 あたため **オートメニュー**

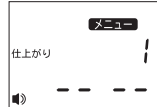
1 ドアを開けて、食品を庫内中央に置く

1度に加熱できる量:100g～600g

※飲み物は、加熱しないでください。飲み物は「オートメニュー」の飲み物のあたため(P11参照)であたためてください。
※ラップする食品は、ゆとりを持たせて軽くかぶせます。

2 ドアを閉めて「スタート」ボタンを1回押す

庫内灯が点灯して加熱が始まります。
温度センサーが食品の温度を検知すると、残り時間を表示します。
(残り時間を表表示しないままいきなり終了することもあります。)



仕上がりを調節したいときは、加熱開始から15秒以内にダイヤルを回して調整してください。(P7参照)

3 できあがり

ブザーが鳴って庫内灯が消えます。
終了後、機器の冷却のためファンが回り続けることがありますので、電源プラグを抜かないでください。
※加熱が足りないときは手動でレンジ500Wに設定して、様子を見ながら加熱してください(P13参照)。
※食品によっては加熱ムラができることがあります。
加熱の途中でかき混ぜたり、裏返したり、向きを変えてください。

- ・レンジ加熱に適した容器をお使いください。(P5参照)
- ・加熱の途中で様子を見ながら調理してください。
- ・角皿は使用しないでください。
- ・加熱後のラップは、やけどに気をつけてすぐに外してください。食品・容器の変形の原因になります。

2 冷凍食品のあたため **オートメニュー**

1 ドアを開けて、食品を庫内中央に置く

1度に加熱できる量:100g～600g

- ・冷凍庫から出したばかりの凍った食品をあたためてください。
- ・解凍する食品が複数の場合は、同じ種類で大きさを揃えてください。
- ・庫内端に置いて加熱すると、過加熱のおそれがあります。

2 ドアを閉めて「スタート」ボタンを2回押す

庫内灯が点灯して加熱が始まります。
温度センサーが食品の温度を検知すると、残り時間を表示します。
(残り時間を表表示しないままいきなり終了することもあります。)



仕上がりを調節したいときは、加熱開始から15秒以内にダイヤルを回して調整してください。(P7参照)

3 できあがり

ブザーが鳴って庫内灯が消えます。
終了後、機器の冷却のためファンが回り続けることがありますので、電源プラグを抜かないでください。
※加熱が足りないときは手動でレンジ500Wに設定して、様子を見ながら加熱してください(P13参照)。
※食品によっては加熱ムラができることがあります。
加熱の途中で裏返したり、向きを変えてください。

アルミホイルを巻いたままレンジで加熱すると、スパークして本体を傷めるため、必ず外してください(P12参照)。

3 肉・魚の解凍 オートメニュー

1 ドアを開けて、食品を庫内中央に置く

1度に加熱できる量:100g～600g

- ・冷凍庫から出したばかりの凍った食品を解凍してください。
- ・解凍する食品が複数の場合は、同じ種類で大きさを揃えてください。
- ・庫内端に置いて加熱すると、過加熱のおそれがあります。

2 ドアを閉めて「オートメニュー」ボタンを押して、メニュー番号3に合わせる



3 ダイヤルを回して、重量を合わせる



(例)100g

4 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき、残り時間が表示されます。

5 できあがり

ブザーが鳴って庫内灯が消えます。

終了後、機器の冷却のためファンが回り続けることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

※解凍が足りないときは手動でレンジ200Wに設定して、様子を見ながら解凍してください(P13参照)。

※食品によっては加熱ムラができることがあります。途中でかき混ぜたり、裏返したり、向きを変えてください。

アルミホイルを巻いたままレンジで加熱すると、スパークして本体を傷めるため、レンジ加熱する場合は必ず外してください(P12参照)。

4 ごはんのあたため オートメニュー

1 ごはんを庫内中央に置く

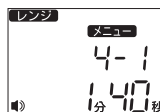
加熱の基準量:150g

ごはんを容器に入れて庫内中央に置き、ドアを閉める

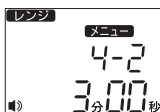
※2杯をあたためる場合は庫内中央に寄せて並べてください。

2 ドアを閉めて「オートメニュー」ボタンを押して、メニュー番号4に合わせる

ごはん1杯



ごはん2杯



3 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき、残り時間が表示されます。

4 できあがり

ブザーが鳴って庫内灯が消えます。

終了後、機器の冷却のためファンが回り続けることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

※加熱が足りないときは手動でレンジ500Wに設定して、様子を見ながら加熱してください(P13参照)。

加熱後は容器が熱くなっているため、ふきんやミトンなどを使って取り出してください。

5 飲み物のあたため オートメニュー

1 飲み物を庫内中央に置く

加熱の基準量:180mL

飲み物を低めの広口容器に8分目まで入れて、庫内中央に置き、ドアを閉める

※複数をあたためる場合は、容量を合わせて庫内中央に寄せて置いてください。

2 ドアを閉めて「オートメニュー」ボタンを押して、メニュー番号5に合わせる



3 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき、残り時間が表示されます。

4 できあがり

ブザーが鳴って庫内灯が消えます。
終了後、機器の冷却のためファンが回り続けることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

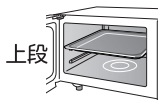
※加熱が足りないときは手動でレンジ500Wに設定して、様子を見ながら加熱してください(P13参照)。

- ・ビンに入っている飲み物は、必ず耐熱容器に移しかえてください。
- ・ふたやラップをしないでください。
- ・加熱前と加熱後には、必ずスプーンなどでよくかき混ぜてください。
- ・加熱しすぎないでください。

6 トースト オートメニュー

1 食パンを角皿中央に均等に置いて、角皿を庫内上段に入れる

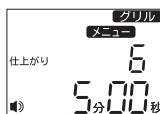
1度に焼ける枚数：1枚～2枚



- ・食パンの大きさや種類によって焼け具合が違います。様子を見ながら時間を調整してください。
- ・連続して焼くときはオートメニューを使わないでください。焼け過ぎてしまうため手動のグリル調理で行ってください。
- ・食パンにバターやジャムなどを塗って焼かないでください。発火のおそれがあります。

2 ドアを閉めて「オートメニュー」ボタンを押して、メニュー番号6に合わせる

2枚焼く場合は、ダイヤルを回して仕上がり調節「強」にしてください。



3 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき、残り時間が表示されます。

4 ブザーが鳴ったら、ドアを開けて食パンを裏返し、ドアを閉めて「スタート」ボタンを押す

※加熱終了後、焼き色が足りないときは、グリルで様子を見ながら加熱してください(P13参照)。

- ・加熱終了後、ブザーが鳴って庫内灯が消えます。機器の冷却のためファンが回り続けることがありますので、電源プラグを抜かないでください。
- ・焼き上がった食パンの角皿にのせた面は水蒸気で柔らかくなります。角皿にオープンレンジ用足つき網などを置き、その上に食パンを置くことと柔らかくなることを防げますが、焼き過ぎになることがありますのでご注意ください。
- ・調理後は庫内や角皿が熱くなっています。食パンの出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないように十分注意してください。

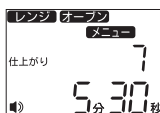
7 揚げ物のあたため オートメニュー

1 揚げ物を庫内中央に置く

加熱の基準量:200g

2 ドアを閉めて「オートメニュー」ボタンを押して、メニュー番号7に合わせる

仕上がりを調節したいときは、ダイヤルを回して調整してください。(P7参照)



3 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき、残り時間が表示されます。
最初はレンジで加熱し、途中からオープン加熱になります。

4 できあがり

ブザーが鳴って庫内灯が消えます。
終了後、機器の冷却のためファンが回り続けることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

※加熱が足りないときは手動でレンジ500Wに設定して、様子を見ながら加熱してください(P13参照)。

レンジを上手に使うポイント

上手に加熱するために

●容器を必ず確認する(P5参照)

耐熱性のない容器やアルミホイルなどは、使用しないでください。

●卵はそのまま加熱しない

・破裂して危険です。卵を加熱するときは、割ってから、黄身も白身もよくほぐしてください。
・ゆで卵もあたためないでください。

●お弁当は1個ずつあたためる

・上下に積み重ねたりすると、うまくあたためられません。
・調味料の容器、アルミケース、飾りなどを取り除いてからあたためてください。

●ゆでる(煮る)調理は、食材の厚みや大きさをそろえる

加熱ムラを少なくすることができます。

●加熱の途中でかき混ぜたり、裏返す

加熱ムラを少なくすることができます。

上手に解凍するために

解凍するときは必ず200Wにする

●ラップ、ふた、飾りは取り除く

・発泡トレーのまま解凍できます。
・ラップなどに包んであった食品は、平皿にキッチンペーパーなどを敷いた上に食品を置いて解凍してください。

●冷凍した食品を常温で放置しない

・冷凍庫から出したばかりの凍った食品を解凍してください。
・溶けかけているときは、レンジ200Wで様子を見ながら解凍します。

●アルミホイルを活用する

形や厚みが均一でない食品は、薄いところや細いところの外周をアルミホイルで包むことで、解凍ムラを防ぐことができます。

※アルミホイルが庫内側面やドアに当たらないようにしてください。

※解凍以外には、アルミホイルを使わないでください。

●加熱調理後に解凍するとき

加熱調理後に、解凍するときはドアを開けて庫内を冷ましてから解凍してください。

葉菜・果花菜をゆでるとき

洗った後の水滴がついたままラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして皿にのせ、庫内中央に置いてください。

●葉菜類

・葉と茎を交互に重ねます。
・太い茎には、十文字に切り込みを入れます。
・アクのある野菜(ほうれん草、春菊、小松菜など)は加熱後、すぐに流水にさらして、アクを抜き、その後冷水に取って、色止めします。
・量が多いとき(200g以上)は、同量ずつ半分に分けてください。

●果花菜類

・大きさを、そろえて切ります。
・アクのある野菜(なす、ブロッコリーなど)は、加熱前に食塩水につけてアクを抜きます。
・色の濃い野菜(なす、ブロッコリー、さやいんげん、グリーンアスパラなど)は、加熱後すぐに流水にさらし、その後冷水に取って色止めをします。

根菜をゆでるとき

水が付いたまま平皿に入れ、ラップを食品に密着する様に平皿ごとかけます。食品を密封させない様にラップのふちを若干あけて、平皿を必ず庫内中央に置いてください。

●丸のままゆでるとき

・2個以上のときは、できるだけ大きさをそろえて重ならないように並べてください。
・じゃがいもやさつまいも、さといもなどは、加熱後、庫内から取り出して、ラップをしたまま5分程度蒸らし、熱いうちに皮をむきます。

●切ってゆでるとき

皮をむき、大きさをそろえて切ってください。

ラップのご使用について

【ラップをするもの】

- 煮物、蒸し物、汁物、調理済み食品全般など、しっかりと仕上げたいもの(冷凍食品は、それぞれ記載のある加熱方法に従ってください)。
- 野菜などを下ごしらえしたり、温野菜にするとき。
- ラップは容器のふちにぴったりと、食品部分にはゆとりを持たせてかぶせ、密封させない様にふちの一部を若干あけてください。
- カレーやシチューなどにラップが直接触れないようにかぶせてください(油分が多いため、ラップが溶けるおそれがあります)。

【ラップをしないもの】

揚げ物、焼き物、炒め物など、水分を飛ばしぎみにしたいとき。

注意:加熱しすぎると発煙・発火します

【あんまん・まんじゅう】

「あん」は高温になると発煙します。

【根菜類(ごぼう、れんこんなど)】

水分が少なくなり発煙・発火することがあります。

【いかなどはじけやすいもの】

はじけてやけどをすることがあります。

【乾燥したものや水分の少ないもの】

発煙・発火することがあります。

手動調理 - レンジを使う-

1 ドアを開けて食品を庫内中央に置く

2 ドアを閉めて「レンジ」ボタンを押す

500W(50Hz)または650W(60Hz)と表示され、押すたびに切り換わります。



お住いの地域の周波数50Hz：500W→400W→200W
お住いの地域の周波数60Hz：650W→500W→200W

※当機は周波数によってレンジ出力が異なります。

50Hz地域の場合 60Hz地域の場合

3 ダイヤルを回して加熱時間を設定する

時間を設定した後で出力を変えたい場合は、「取消」ボタンを押して手順2からやり直してください。

■設定できる時間

650W・500W・400W → 15分まで
200W → 30分まで

4 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき、残り時間が表示されます。

5 加熱終了

ブザーが鳴って庫内灯が消えます。

終了後、機器の冷却のためファンが回り続けることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

- ・食品の量が2倍になると、加熱時間は約2倍弱になります。
- ・加熱中は、途中で様子を見ながら調理してください。
- ・角皿は使用しないでください。

手動調理 - グリルを使う-

1 角皿に食品を入れて庫内にセットする

※グリルは上ヒーターで加熱しますので上段がおすすめです。

2 ドアを閉めて「グリル」ボタンを押す



3 ダイヤルを回して加熱時間を設定する

■設定できる時間

95分まで



(例) 30分設定時

4 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき、残り時間が表示されます。

両面に焼き色をつけたい時は途中で裏返します。

5 加熱終了

ブザーが鳴って庫内灯が消えます。

終了後、機器の冷却のためファンが回り続けることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

- ・続けて調理する場合は、ドアを開けて庫内を冷ましてから調理を行ってください。
- ・加熱後は、庫内や角皿が熱くなっています。食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないよう十分注意してください。

手動調理 - オーブを使う(予熱あり)-

1 「オープン」ボタンを押す

このとき、角皿と食品は庫内に入れません。



2 ダイヤルを回して加熱温度を設定する

■設定できる温度

110℃～200℃まで
(10℃単位)



(例)200℃設定時

3 「スタート」ボタンを押して予熱する

予熱が終了すると、ブザーが6秒毎に鳴ってお知らせします。

※約15分間予熱を保持します。

その間何も操作しないと、設定は取り消されます。



4 角皿に食品を置いて、角皿を庫内に入れる

5 ダイヤルを回して加熱時間(調理時間)を設定する

■設定できる時間

95分まで



(例)35分設定時

6 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき、残り時間が表示されます。

7 加熱終了

ブザーが鳴って庫内灯が消えます。
終了後、機器の冷却のためファンが回り続けることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

- ・続けて調理する場合は、ドアを開けて庫内を冷ましてから調理を行ってください。
- ・加熱後は、庫内や角皿が熱くなっています。食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないよう十分注意してください。

手動調理 - オーブを使う(予熱なし・発酵)-

1 角皿に食品を置いて、角皿を庫内に入れる

2 「オープン」ボタンを2回押す



3 ダイヤルを回して加熱温度を設定する

■設定できる温度

オープン予熱なし加熱:110℃～200℃まで
(10℃単位)

※発酵は40℃



(例) オープン予熱なし加熱 200℃設定時



(例)発酵40℃設定時

4 「スタート」ボタンを押して、ダイヤルを回して加熱時間(調理時間)を設定する

■設定できる時間

95分まで



(例) オープン予熱なし加熱 35分設定時

5 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき、残り時間が表示されます。

6 加熱終了

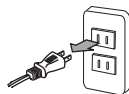
ブザーが鳴って庫内灯が消えます。
終了後、機器の冷却のためファンが回り続けることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

- ・続けて調理する場合は、ドアを開けて庫内を冷ましてから調理を行ってください。
- ・加熱後は、庫内や角皿が熱くなっています。食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないよう十分注意してください。

お手入れ

⚠ 警告

お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷めたことを確認してから行ってください。



⚠ 注意

お手入れには、シンナー・クレンザー・金属たわしなどを使わないでください。変色・変質・劣化などの原因になります。



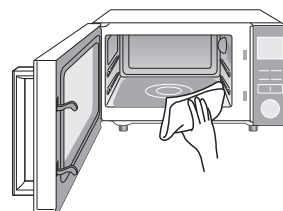
【本体・ドア】

- 本体外側やドアは、台所用中性洗剤を含ませたふきなどで汚れをふき取った後、固くしぼったふきんで洗剤分をふき取ってください。
- 吸気口についたホコリなどは、掃除機や乾いた布などで定期的に取り除いてください。



【庫内・ドアの内側】（使用ごとにお手入れをしてください。）

- 調理中にこぼれた汁や飛び散った油・食品カスなどは、早めにふき取ってください。汚れたまま使用すると、焦げ付いて取れにくくなったり、発煙・発火する原因になります。
- 汚れは、台所用中性洗剤を含ませたふきなどでふき取った後、固くしぼったふきんで洗剤分をふき取ってください。



【角皿】（使用ごとにお手入れをしてください。）

- 角皿は、スポンジなどで洗い、水分をふき取り、よく乾かしてください。



【電源プラグ】

電源プラグの刃、刃の取付面やコンセントにホコリが付いているときは、乾いた布でふき取ってください。



故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなとき	ご確認ください
動かない	●電源プラグが抜けていませんか。 →しっかりと電源プラグを差し込んでください。 ●配電盤のブレーカーが切れていませんか。 →お使いの電気製品を確認して容量内でお使いください。 ●停電していませんか。 ●調理中にドアを開閉しませんでしたか。 →スタートボタンを押すか、または再度設定してください。
何も表示していない	●ドアを閉めてしばらくすると自動的に電源が切れます。(オートオフ機能) →ドアを開閉して、「0」表示がでたら操作してください。
操作ボタンを押しても反応しない	●表示部が「0」を表示していますか。 →ドアを開閉して、「0」表示がでたら操作してください。(P6参照) ●チャイルドロックが設定されていませんか? →表示部に「」が表示されている場合は解除してください。(P6参照) ●消音モードになっていませんか? →消音モードではボタンを押しても音がしません。(P6参照)
スタートボタンを押しても加熱しない	●ドアが完全に閉まっていますか。 →ドアを確実に閉めてください。 ●メニューは選びましたか。 ●出力、時間などの設定は行いましたか。
すぐに加熱が止まる	●庫内が熱くなっていますか。 →庫内が熱いときは、温度センサーが働き加熱を停止することがあります。 ドアを開けて庫内を冷ましてから加熱してください。
火花がでる(レンジ調理)	●金属容器やアルミホイル、金粉や銀粉などの飾りのある容器などを使っていますか。 →使用できる容器に変えてください。(P5参照) ●庫内が空だったり、食品の量が少なすぎる状態で加熱していませんか。 →適量の食品を入れてください。
煙がでたり、いやなにおいがする	●ご購入後から焼きをしましたか。(P8参照) ●庫内やドアに、調理物のカスや油などが付着していませんか。 →ふき取ってください。(P15参照)
加熱中にヒーターがついたり消えたりする	●メニューによってヒーターの制御をしています。故障ではありません。
加熱中に音がする	●加熱中にブーン、ゴトゴト、カチカチ、ポコンといった音がする場合があります。 →ファンやアンテナの動作音、スイッチ音、壁面の膨張・収縮音などであり、故障ではありません。
加熱後に音がする	●部品を冷却するファンの音です。故障ではありません。
ドアがくもり水滴が落ちる	●食品の水分が水蒸気となったものです。ふき取ってください。

点検

電源コード、電源プラグはときどき点検を行ってください。

※電源コードやプラグに異常があるときは修理をご依頼ください。

●電源プラグやコードが手で持てないくらい熱くなり、異常と感じたときは、次のことをご確認ください。

- 1.延長コードを使用していませんか。
→コードは長くするほど抵抗が大きくなり発熱します。
- 2.同じコンセントで他の電気製品を使っていませんか。
→コンセントの容量いっぱいで使用すると発熱する原因になります。
- 3.電源コードに傷があったり、異常に柔らかい部分がありませんか。
→電源プラグ付近のコードは、抜き差し回数が多かったり電源プラグをもたずに抜いたりして負荷をかけると内部で断線することがあり発熱します。
- 4.電源プラグが変形したり、変色、汚れが付着していませんか。
→コンセントとの接触不良で発熱する原因になります。
- 5.別のコンセントでも熱くなりますか。
→別のコンセントで症状がでない場合は、使っていたコンセントを確認してください。
差し込みがゆるくなっていると熱くなる原因になります。

●運転中、電源コードを動かすと電源が切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

定 格 電 圧		AC100V
定 格 周 波 数		50Hz/60Hz共用
外 形 寸 法		幅455mm×奥行335mm×高さ282mm
質 量		約13.0kg
庫内有効寸法		幅297mm×奥行284mm×高さ約180mm
コ ー ド 長		約1.4m
電子レンジ	消 費 電 力	980/1280W(50/60Hz)
	高周波出力	500/650W (50/60Hz)
	発振周波数	2450MHz
オーブン	消 費 電 力	1200W(50/60Hz)
	温度調節範囲	40℃ (発酵) 、110～200℃
グリル	消 費 電 力	1200W(50/60Hz)
区 分 名		B
電子レンジ機能の年間消費電力量		55.6kWh /年
オーブン機能の年間消費電力量		12.9kWh /年
年間待機時消費電力量		0.0kWh/年
年 間 消 費 電 力 量		68.5kWh /年

- 年間消費電力量は、省エネ法・特定機器「電子レンジ」新測定法による数値です。
- 区分名は、省エネ法に基づき、機能、加熱方法、庫内容量の違いで分けています。
- 実際にお使いになるときの年間消費電力は、周囲環境、使用回数、使用時間、食品の量などによって変化しますので、目安としてご覧ください。
- 長期間ご使用になられないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

アフターサービスについて

製品の保証について

●この説明書には、製品の保証書がついています。

保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

●保証期間は、お買い上げ日より1年間です。（マグネトロンのみ2年間です。）

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

●保証期間後の修理

お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認ください。それでも異常のあるときは、ただちに使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は、絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

本製品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口

ナビダイヤル  **0570-019-700**

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～17:00（土・日・祝日を除く）

●Eメールでのご相談も受け付けております。
その際は製品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には、保証書に記載の製品名・品番をご連絡ください。